

【「地域の守り手」による災害発生時における支援活動（紹介）】

令和6年8月7日（水）の豪雨により、県道湯野上会津高田線において土砂災害が発生し、一時通行止めになりました。

本路線は年間約80万人の観光客が訪れる県内有数の観光地「大内宿」へのアクセス道路ですが、「三立土建（株）」さんや「（一社）福島県地質調査業協会」さんの協力により、最も混雑が予想されるお盆期間前の8月9日（金）に通行止めを解除しました。

「三立土建（株）」さんは、災害発生後直ちに緊急体制を整え、昼夜施工による応急復旧工事（流出した土砂の除去、大型土のう設置による仮設安全対策）に取り組みました。

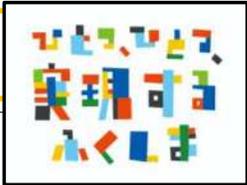
「（一社）福島県地質調査業協会」さんは、県との災害協定に基づく法面調査により、土砂流出した法面の安全確認を行いました。

建設産業は社会資本の整備の担い手であると同時に、社会の安全・安心を確保するために維持補修、除雪、災害対応等の第一線で活躍する「地域の守り手」として、国土保全上必要不可欠な産業です。

なお、流出した土砂の影響により、当面の間、約0.1kmの区間を片側交互通行といたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

#南会津建設事務所 #南会津建設 #南会津 #福島 #東北 #建設 #土木
#県道329号 #湯野上会津高田線 #道路情報 #通行止め #解除 #ふくしまの建設 #下郷町 #しもごうまち #大内宿
#minamiaizu #fukushima #japan #civil_engineering #construction
#aizu #Road_closed #oouchiyuku

県道 湯野上会津高田線 応急復旧工事 (福島県)



- 令和6年8月7日(水)豪雨により、下郷町大字湯野上地内で山側斜面から土砂が流出。崩土により落石防護柵が倒壊、路面が埋没し、**全面通行止め**となった。
- 本路線は年間約80万人の観光客が訪れる県内有数の観光地「大内宿」へのアクセス道路であり、早期の通行確保と早期復旧が最重要課題となった。
- 「三立土建(株)」 「(一社)福島県地質調査業協会」の協力により応急復旧工事（崩土の除去、大型土のう設置による仮設安全対策）や斜面上の不安定土砂の調査に着手。
- 昼夜施工による復旧作業や急峻な山岳斜面調査により、最も混雑が予想されるお盆期間前（8月9日(金) 15時30分）に通行止めを解除（片側交互通行）
- 10月7～8日に災害査定を受検したことから、速やかに本格的な復旧工事（落石防護柵再設置・2車線確保）に着手し、一日も早い片側交互通行解消を目指します。

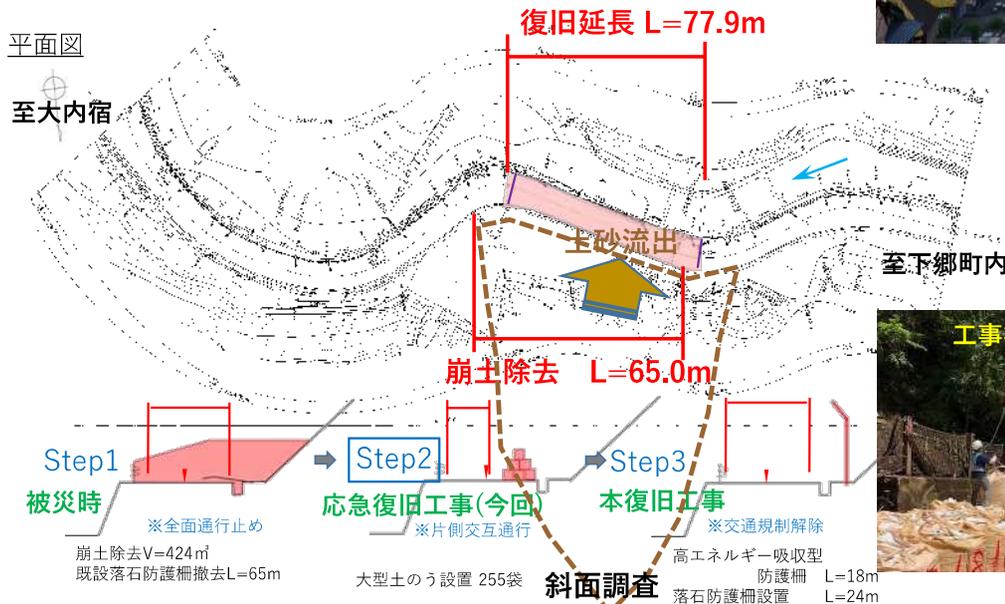
【被災の状況】

L = 6.5mにわたり土砂が流出。
このことで既設落石防護柵の損壊と道路閉塞が発生。

【応急復旧工事と斜面調査】

平面図

至大内宿



大内宿

国の重要伝統的建造物群保存地区



被災時



応急復旧工事完了



工事状況 (応急復旧)

